

## 18 抗菌薬・抗真菌薬・抗ウイルス薬

**処方薬** イトリゾール（イトラコナゾール）  
イナビル吸入粉末剤（ラニナミビルオクタン酸エステル水和物）  
クラビット（レボフロキサシン水和物）  
クラリス（クラリスロマイシン）  
ケフラル（セファクロル）  
サワシリン（アモキシシリン水和物）  
ジスロマック（アジスロマイシン水和物）  
ソビラックス（アシクロビル）  
ソフルーザ（バロキサビルマルボキシル）  
タミフル（オセルタミビルリン酸塩）  
バルトレックス（バラシクロビル塩酸塩）  
ミノマイシン（ミノサイクリン塩酸塩）

**市販薬** エンペンドL  
メディトリート

## 19 ビタミン・滋養強壮

- ・ビタミン剤：各種ビタミンは禁止されていない。しかし、ビタミン類に種々の強壮薬などを配合した製剤、とくに外国製品には禁止物質を含むものが多い。医薬品の場合には内容を明記してあるが、医薬品以外は使用しないほうが賢明である。
- ・滋養強壮保健薬：医薬品にも男性ホルモンやストリキニーネなどの禁止物質やモニター物質を含むものがある。漢方を含むものや外国製品も組成不明が多く、禁止物質陽性となることが多い。使用しないほうが安全。

## 20 鉄欠乏性貧血（鉄剤）

**処方薬** フェルムカプセル（フマル酸第一鉄）  
フェロ・グラデュメット錠（硫酸鉄）  
フェロミア（クエン酸第一鉄ナトリウム）

**市販薬** ファイチ  
ヘマニック  
マスチゲン錠

**注意** 鉄剤は、経口投与が原則で、注射（静脈内投与）は鉄過剰・健康障害のハイリスクとなる。

## 21 気管支炎・気管支喘息

**処方薬** アイロミールエアゾール（サルブタモール硫酸塩）  
アズマネックスツイストヘラー（モメタゾンフランカルボン酸エステル）  
アドエア（サルメテロールキシナホ酸塩、フルチカゾンプロピオン酸エステル）  
アトロベントエロゾル（イプラトロピウム臭化物水和物）  
オーキシスタービューヘイラー（ホルモテロールフマル酸塩水和物）  
オノン（برانルカスト水和物）  
オルベスコインヘラー（シクレソニド）  
キプレス（モンテルカストナトリウム）  
キューバルエアゾール（ベクロメタゾンプロピオン酸エステル）  
サルタノールインヘラー（サルブタモール硫酸塩）  
シムビコート タービューヘイラー

（ホルモテロールフマル酸塩水和物、ブデソニド）

シングレア（モンテルカストナトリウム）  
セレベント（サルメテロールキシナホ酸塩）  
テオドール（テオフィリン）  
バルミコート（ブデソニド）  
フルタイド（フルチカゾンプロピオン酸エステル）

フルティフォームエアゾール  
（ホルモテロールフマル酸塩水和物、フルチカゾンプロピオン酸エステル）  
ベネトリン吸入液（サルブタモール硫酸塩）

- 注意**
- ・ベータ2作用薬は常時禁止物質であるが、サルブタモール、ホルモテロール、サルメテロールの吸入は添付文書の用法・用量に従う限り使用可能。
  - ・糖質コルチコイドの全身的使用は禁止されるが、喘息の疾患に対する吸入による局所使用は可能。

## 22 高血圧

**処方薬** アジルバ錠（アジルサルタン）  
アダラート（ニフェジピン）  
アムロジン（アムロジピンベシル酸塩）  
オルメテックOD錠（オルメサルタンメドキシミル）  
プロプレス錠（カンデサルタンシレキセチル）  
ニューロタン錠（ロサルタンカリウム）  
ノルバスク（アムロジピンベシル酸塩）

**注意** 利尿薬との配合薬は禁止。  
ベータ遮断薬は競技種目により禁止。

## 23 痛風・高尿酸血症

**処方薬** ウラリット（クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム水和物）  
コルヒチン錠（コルヒチン）  
ザイロリック錠（アロプリノール）  
フェブリク錠（フェブキソスタット）  
ユリノーム錠（ベンズプロマロン）

**注意** プロベネシドは禁止。

## 24 糖尿病

**処方薬** 経口血糖降下薬（SGLT2阻害薬を含む）およびGLP1受容体作用薬は使用可能。

**注意** インスリンは禁止。

## 25 ワクチン

**処方薬** インフルエンザHAワクチン  
サーバリックス（子宮頸がん予防ワクチン）

## 26 月経関連（女性ホルモン薬）

**処方薬** トリキュラー錠21、28（エチニルエストラジオール・レボノルゲステレル）  
マーベロン21、28（エチニルエストラジオール・デノゲステレル）  
ルナベル配合錠LD、ULD（エチニルエストラジオール・ノルエチステロン）  
ヤーズフレックス配合錠（エチニルエストラジオール・ドロスピレノン）  
プラノバル配合錠（ノルゲステレン・エチニルエストラジオール）  
ノルレボ錠（レボノルゲステレル）  
デュファストーン錠（ジドロゲステロン）

**注意** 月経周期の変更に用いられる混合ホルモンは使用可能。

## 27 消毒薬

**処方薬** イソジン（ポピドンヨード）  
オスパン（ベンザルコニウム塩化物）  
ヒビテン（クロルヘキシジングルコン酸塩）

**市販薬** オキシドール  
マキロンS

本リーフレットは日本スポーツ協会のホームページよりダウンロードできます。アンチ・ドーピング情報と併せてご確認ください。

HPIはこちら⇒<http://www.japan-sports.or.jp/medicine/doping/tabid/537/Default.aspx>



公益財団法人

日本スポーツ協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2  
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 12F  
TEL.03-6910-5806



●本リストには、競技会時を含めいつでも安心して使用できる薬をあげました（競技会外検査では競技会検査禁止物質の一部を検査）。

●禁止物質でも申請手続きにより「治療使用特例（TUE）」を受けられる場合があります。また使用量が少なく尿中濃度が低ければ使える薬などありますが、そのような使用条件に制限がある薬はあげておりません。

＊特定競技において使用が禁止される薬もあります。各競技の禁止物質リストを参照し注意してください。

●本リストは例示であり、他にも多くの使用可能な医薬品があります。

●ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、先発医薬品と同等の有効成分を含有しておりますので、基本的には使用可能です。

●本リストは、世界アンチ・ドーピング機構(WADA)の禁止表国際基準(1月1日発効)に伴い、毎年改定されます。

〈凡例〉

**処方薬**：医師の処方が必要な薬

**市販薬**：処方せんなしで買える薬

( )内は成分名

市販薬は名前全体が**完全に一致**することを確かめてください。ほとんど同じ名前でも頭に「新」が、終わりに「錠」や「会社名」あるいは「アルファベット」がついているだけで組成が異なる場合があります。

複数製品は[ ]内を接尾語“、”で区切って示しています。



スポーツ振興くじ助成事業

## 1 熱・痛み（鎮痛・解熱・抗炎症薬・片頭痛薬）

- 処方薬** アスピリン  
イミグラン（スマトリブタンコハク酸塩）  
インデパン（インドメタシン）  
SG配合顆粒  
カロナール（アセトアミノフェン）  
セレコックス錠（セレコキシブ）  
ブルフェン（イブプロフェン）  
ボルタレン（ジクロフェナクナトリウム）  
リリカ（プレガバリン）  
ロキシノン（ロキシプロフェンナトリウム水和物）
- 市販薬** ファリアンA  
フェリア  
ボルタレン [ACローション、EXテープ]  
ロキシノン [S、Sプラス、Sプレミアム]

## 2 筋肉の痛み・こわばり（中枢性筋弛緩薬）

- 処方薬** テルネリン（チザニジン塩酸塩）  
ミオナール（エペリゾン塩酸塩）

## 3 かぜ（総合感冒薬）

- 処方薬** PL配合顆粒  
ベレックス配合顆粒  
新エスタック [W]  
パイロンPL顆粒  
パブロンSゴールドW [錠、微粒]
- 注意** 市販薬には禁止物質（エフェドリンなど）が配合された製品が多く、製品名全体が**完全に一致**することを確かめる。  
かぜの特効薬はないので、症状にあわせて**1**、**4**、**14**などの薬を選んで使用した方が有効な場合もある。

## 4 せき・たん（鎮咳去痰薬）

- 処方薬** アストミン（ジメモルファンリン酸塩）  
フスタゾール（クロベラスチン）  
ムコソルバン（アンプロキシオール塩酸塩）  
ムコダイン（L-カルボシステイン）  
メジコン（デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物）
- 市販薬** 新コンタックせき止めダブル持続性  
ストナ去たんカプセル  
タイムコール去たん錠
- 注意** 市販薬には禁止物質（エフェドリンなど）が配合された製品が多い。

## 5 じんましん・アレルギー・花粉症（アレルギー用薬）

- 処方薬** アレグラ（フェキソフェナジン塩酸塩）  
アレジオン（エピナスチン塩酸塩）  
アレロック（オロパタジン塩酸塩）  
インタール（クロモグリク酸ナトリウム）  
ザジテン（ケトチフェンマル酸塩）  
ザイザル（レボセチリジン塩酸塩）  
デザレックス錠（デスロラタジン）  
ピラノア錠（ピラスチン）
- 市販薬** アレグラFX  
アレジオン20  
クラリチンEX
- 注意** 市販薬には禁止物質（エフェドリンなど）が配合された製品が多い。

## 6 胃炎・胃潰瘍

- 処方薬** アルサルミン（スクラルファート水和物）  
ガスター（ファモチジン）  
ガストローム顆粒（エカベトナトリウム水和物）  
セルベックス（テブレノン）  
タケキャブ錠（ボノプラザン）  
ネキシウム（エソメプラゾール）  
パリエット錠（ラベプラゾールナトリウム）  
プロテカジン（ラフチジン）  
マーロックス懸濁用配合顆粒（乾燥水酸化アルミニウムゲル・水酸化マグネシウム）  
ムコスタ（レバミピド）
- 市販薬** アシノンZ  
ガスター10
- 注意** 市販薬には禁止物質（ストリキニーネ）が含まれているものがある。

## 7 腹痛（鎮痙・鎮痛薬）

- 処方薬** プスコパン錠（ブチルスコポラミン臭化物）
- 市販薬** コランチルA顆粒  
サクロンQ

## 8 消化不良・食べ過ぎ（消化酵素配合薬）

- 処方薬** タフマックE  
ベリチーム配合顆粒  
ポリトーゼ  
エピオス錠（\*指定医薬部外品）  
パンシロンG  
パンラクミン錠（\*指定医薬部外品）

## 9 便秘

- 処方薬** アミティーザカプセル（ルビプロストン）  
酸化マグネシウム  
フルゼニド錠（センノシドA・B）  
ラクソベロン（ピコスルファートナトリウム水和物）  
リンゼス（リナクロチド）
- 市販薬** コーラック  
イチジク浣腸  
酸化マグネシウムE便秘薬

## 10 整腸薬・下痢止め

- 処方薬** タンナルビン（タンニン酸アルブミン）  
ピオフェルミンR（耐性乳酸菌）  
ミヤBM（酪酸菌）  
ラックビー微粒N（ビフィズス菌）  
ロペミン（ロペラミド塩酸塩）
- 市販薬** ストッパ下痢止めEX  
ロペラマックスット

## 11 吐き気・乗り物酔い

- 処方薬** トラベルミン配合錠（ジフェンヒドラミンサリチル酸塩・ジプロフィリン）  
ナウゼリン（ドンペリドン）  
プリンペラン（メトクロプラミド）
- 市販薬** センバア  
マイトラベル錠

## 12 不眠・イライラ（催眠鎮静薬）

- 処方薬** アモバン錠（ゾピクロン）  
セルシン（ジアゼパム）  
ハルシオン錠（トリアゾラム）  
ベルソムラ錠（スボレキサント）  
マイスリー錠（ゾルピデム酒石酸塩）

- ロゼレム錠（ラメルテオン）
- 市販薬** ドリエル
- 注意** 催眠鎮静薬の海外への持ち出し、持ち込みには厳重な規制がある。

## 13 痔疾用薬

- 処方薬** サーカネッテン配合錠  
ヘモクロンカプセル（トリベノシド）  
ポストリザン（大腸菌死菌浮遊液）  
ボラギノールM [軟膏、坐剤]
- 市販薬** 経直腸による糖質コルチコイドの使用（注入軟膏および坐剤を含む）は禁止されるが、肛門に塗布する糖質コルチコイドを含む痔疾患治療の軟膏は、使用可能。

## 14 鼻づまり（耳鼻用薬）

- 処方薬** インタール点鼻液（クロモグリク酸ナトリウム）  
ザジテン点鼻液（ケトチフェンマル酸塩）  
プリピナ液（ナファゾリン硝酸塩）
- 市販薬** エージーアレルカットEX  
パブロン点鼻クイック
- 注意** 糖質コルチコイドの全身的使用は禁止されるが、耳・鼻の疾患に対する局所使用は可能。  
血管収縮薬であるナファゾリンなどの点鼻は、用法・用量に従う限り使用可能。

## 15 目薬（眼科用薬）

- 処方薬** 抗菌薬・ビタミン類・人工涙液の処方薬は使用可能。
- 感染症**
- 市販薬** サンテ抗菌新目薬  
ロート抗菌目薬EX
- ビタミン類・疲れ目**
- 市販薬** サンテ40プラス  
ロートゴールド40
- 人工涙液・ドライアイ**
- 市販薬** スマイルコンタクトピュア  
ソフトサンティア
- 洗眼薬**
- 市販薬** アイボンd  
フレッシュアイAG
- 花粉症**
- 市販薬** アイリスAGガード
- 注意** 糖質コルチコイドの全身的使用は禁止されるが、目の疾患に対する局所使用は可能。

## 16 にきび（尋常性ざ瘡治療薬）

- 処方薬** アクアチム（塩酸ナジフロキサシン）  
スタデルム（イブプロフェンピクノール）  
ディフェリンゲル（アダパレン）  
ベピオゲル（過酸化ベンゾイル）
- 市販薬** エバユースにきび薬  
オロナインH軟膏  
テラマイシン軟膏a

## 17 うがい薬・口腔内殺菌薬・口内炎薬

- 処方薬** アフタッチ口腔用貼付剤（トリアムシノロンアセトニド）  
含嗽用ハチアズレ顆粒（アズレンスルホン酸ナトリウム水和物・炭酸水素ナトリウム）  
デキササルチン口腔用軟膏（デキサメタゾン）  
SPトローチ（デカリニウム塩化物）
- 市販薬** 浅田飴のどクールスプレー  
イソジンうがい薬
- 注意** 糖質コルチコイドの全身的使用は禁止だが、口腔内の疾患に対する局所使用は可能。